

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaranews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！



2045年までにカーボンニュートラル実現へ

自社水力発電の再生可能エネルギー由来の電力を自社工場に活用 再生可能エネルギーの活用でGHG排出量削減の取り組みを加速 モノづくりで環境負荷低減！ 脱炭素社会の構築に向けて貢献！

再生可能エネルギー電気 超硬工具製造拠点の明石、 筑波製作所の電力に適用

三菱マテリアルは、自社工場で使用する電力の一部に同社の水力発電所である大湯発電所(秋田県鹿角市)由来の環境価値がついた実質的な再生可能エネルギー電気を適用し、GHG排出量を削減する。

今回、1,300MWh分の大湯発電所由来のトラッキング付きFIT非化石証書を調達し、同社の超硬工具製造拠点である筑波製作所・明石製作所で今年度使用する電力の一部に適用することで、実質的な再生可能エネルギー電気とする。これにより同社グループの今年度の年間GHG排出量の削減量は、CO₂換算で約550t(2021年度排出係数ベース)を見込んでいる。同社では、次年度以降もこの取り組みを継続して行う予定で、温室効果ガス排出量削減を積極的に推進する。

環境負荷低減 脱炭素社会へ

近年は、温室効果ガス排出量の削減、脱炭素社会の構築に向け、欧州をはじめとする世界各国がカーボンニュートラルの実現に向けた様々な取り組みを展開している。

同社が調達するトラッキング付きFIT非化石証書は、再生可能エネルギーの固定買取制度による再生可能エネルギー電気について、非化石電源から作られた電気であるという「非化石価値」を電気から切り離して証書化したもの。さらに、どこの発電所で発電された分なのか、属性情報を付与したものが「トラッキング付きFIT非化石証書」で、同社はモノづくり拠点の電力の一部として再生可能エネルギー電気を適用することでグループ全体の環境負荷低減を進めていく。

今回、今年度使用する電力の一部として適用する明石製作所は、ハイスド

リル、ソリッドエンドミル、歯切工具、ブローチなどの切削工具をメインに製造する。一方、筑波製作所は、インサート、超硬素材を中心に製造する。両製作所で製造する超硬工具製品は、世界のモノづくりを支える付加価値の高い製品としてグローバルに提供されている。



2045年度までに実質ゼロ カーボンニュートラル実現

三菱マテリアルは、グループ全体で



2030年度までにGHG排出量を47%削減(2013年度比)する方針で、2045年度までに実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現を目指している。

同社グループは、省エネのさらなる推進、燃料転換などによる技術改善を進めるとともに、再生可能エネルギー由来の電力の導入も順次進める予定もしており、2030年度までに同社グループで使用する電力の約60%を切り替えることも計画している。

三菱マテリアルグループは、2045年度のカーボンニュートラル実現に向け、環境負荷低減を考慮したモノづくりを徹底し、温室効果ガス排出量の削減を積極的に進め、脱炭素社会の構築により一層貢献する。

■大湯発電所

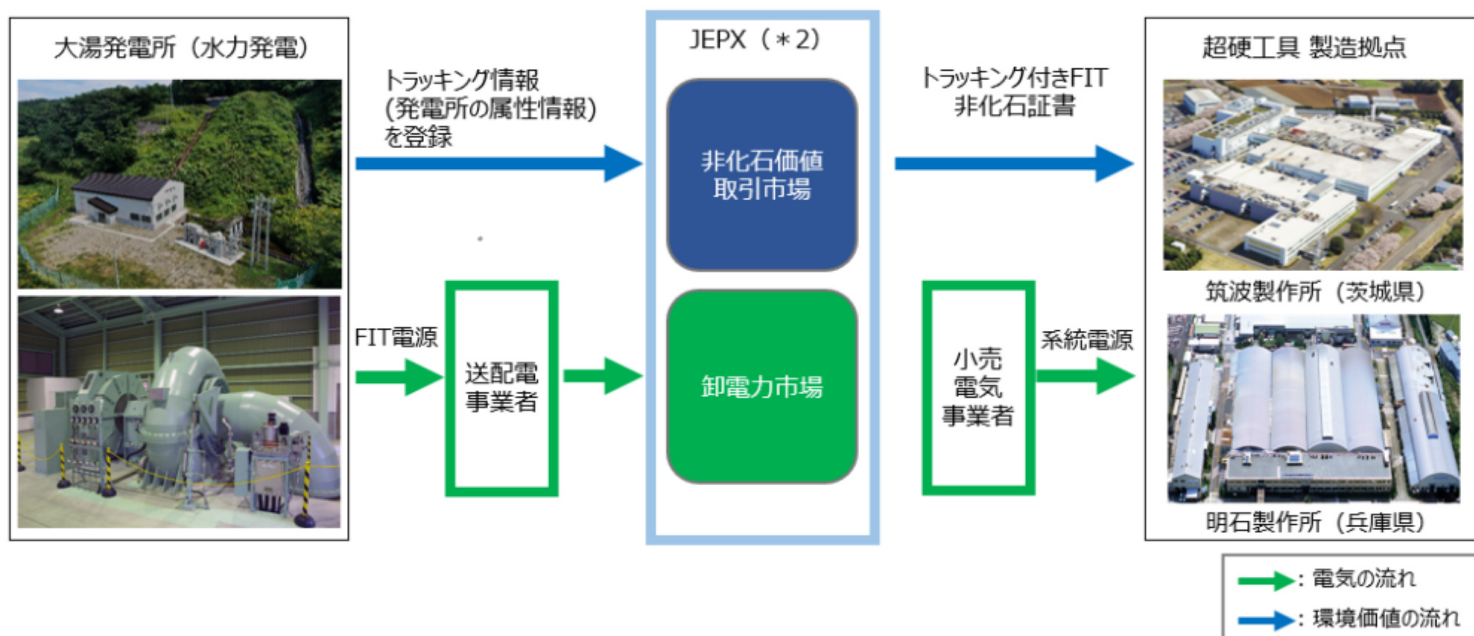
◇所在地：秋田県鹿角市
◇発電形式/方式：水路式/流込み式
◇出力：認可最大出力 956kW

■筑波製作所

◇所在地：茨城県常総市
◇主要製造品：インサート、超硬素材

■明石製作所

◇所在地：兵庫県明石市
◇主要製造品：ハイスドリル、ソリッドエンドミル、歯切工具、ブローチ
(※資料提供：三菱マテリアル)



(※2) JEPX (Japan Electric Power Exchange : 日本卸電力取引所)
電力の自由化に伴い設立された、電力の売買を行える国内唯一の卸電力取引市場。
「非化石証書」は JEPX が主催する取引所で、オークション形式により購入することが可能。

■三菱マテリアル株式会社 URL→ <https://www.mmc.co.jp/corporate/ja>
■三菱マテリアル 加工事業カンパニーURL→ <https://carbide.mmc.co.jp/>